



# 七小だより

令和2年1月31日  
国立市立国立第七小学校  
校長 大山紀子  
NO. 10 2月号

## みんなで作る七小わくわく発表会

副校長 清原周栄

先週の学校公開・わくわく発表会では、たくさんの方にご参観いただきありがとうございました。今回は、1・3・5年生の発表でした。会場は教室だけでなく、特別教室、体育館など、発表内容に合わせて様々な場所で発表を展開していました。

1年生は、昔遊びをテーマに、ご家族から聞いたこと、本で調べたこと、実際に体験して思ったことなど、絵や文章を提示しながら一生懸命に発表する姿が印象的でした。最初は下を向きながら発表していた子ども、発表を重ねる度に経験を重ね、発表方法を工夫している姿に感心しました。年末にご両親の実家に帰省し、昔遊びのことをインタビューしたり、一緒に昔遊びを行ったりした子ども何人かいたようで、楽しかった思い出や気付いたことを生き生きと話す姿から、この学習が子供たちにとってご家族との貴重な交流の機会にもなったと嬉しく思いました。

3年生は、「地域のことをもっと知ろう」と題して本校の近隣にある施設に見学に行き、見たり聞いたりしたことを写真や絵を活用しながら発表していました。東京都多摩障害者スポーツセンターを調べたグループの発表では、視覚障害用の卓球の玉には、競技する方が音で反応できるように小さな金属の玉が入っていることや、プール施設の入り口のスロープは、誰もが握りやすいように柔らかい素材が使われていること、またプールの中では、残り5mラインを気泡発生装置で知らせていることなど実際に見て学んだことを自分の言葉で紹介していました。また、谷保駅グループの発表では、線路に落ちた物については、マジックハンドを使って取るなど、どのグループの発表にも興味深い内容が多くあり感心しながら発表を聞くことができました。

5年生は、オリンピック・パラリンピックの歴史や競技場、競技種目、選手などを調べたことについて、聞き手を意識した工夫をたくさんしていました。体育館には、バレー選手がジャンプしたらどこまで高く跳べるかが分かるように跳び箱を設置し、その高さを体験するコーナーがありました。また、1袋約20kgの砂袋を8つ置き、実際の重量挙げ選手の記録を体験できるなどオリンピックやパラリンピックのすごさを実感し、体験した子供たちは皆驚きを隠せない様子でした。また、本校児童が観戦予定のパラリンピック陸上競技の会場でもある新国立競技場について、タブレット型PCを活用し競技場が完成されるまでの映像を紹介していました。

このように学年は違っても、どのグループも聞き手を飽きさせない工夫が随所にあり、本当に感心させられました。発表を終えたどの子の表情も安堵感と同時に晴れ晴れとしていて、その姿は達成感に満ちあふれていました。発表する側も聞く側もドキドキわくわくする時間を共有できたのではないのでしょうか。どの学年の発表も実際に調べ、体験したり、インタビューをしたり、友達と協力しながら作り上げたものです。このような体験は、時間が経っても忘れない貴重な経験となるはずです。保護者の皆様、地域の皆様のご協力のお陰で無事に発表することができました。本当にありがとうございました。2月の学校公開でも2・4・6年生がわくわく発表会を行います。ぜひ、次回の発表会でも多くの皆様に子供たちの学習の成果をご覧いただきたいと思います。引き続き、本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 【来年度の写真購入について】

来年度の写真購入について、タカハシ写真さんより本日お手紙が配布されました。お手紙をご覧ください趣旨をご理解の上、ご協力よろしくお願いいたします。